

2 尾張西地区



幼児期家庭教育講座

尾張西地区 あま市

○ねらい、趣旨

- 子育てが楽しく安心してできるように、子育て中の親子が集い、交流・学習する場を提供する。

○きっかけ 取組の背景

- 平成22年のあま市合併に伴い、各町ネットワークも合併して「ミルキーねっと」を立ち上げ、教育部生涯学習課から委託を受け、平成23年度から実施している。
- 子育て中の親子に寄り添い、友達作り・情報交換・悩み事相談等のサポートをする。

○事業・活動主体

ミルキーねっと
(あま市子育てネットワーク)
あま市教育部生涯学習課

○活動の概要

<対象者>

未就学児とその保護者・家族

<人数>

10～25組（講座により変動）

<活動の内容>

- にこにこ学級（全10回）
- 赤ちゃんと一緒にベビーダンス
- 親子で工場見学（地元の七宝みそ）
- 田んぼでドロンコ遊び
- クリスマスを食べよう
- 凧を作って遊ぼう
- お雛様の飾り巻きずしを作ろう 等



○活動の特色や手立て

- ・ 親子で楽しむ講座、子育てについて学ぶ講座、食育講座などバラエティーに富んだ気軽に楽しく参加できる講座を企画・運営している。
- ・ 茶話会やアンケートから現役ママたちの声を聞き、企画に反映したり希望者には実際に携わってもらったりしている。

○啓発方法

- ・ あま市の講座・教室のご案内、ホームページ、ミルキーねっとブログ
- ・ あま市子育て支援Webサイト・子育て支援メールマガジン

○成果・効果

- ・ 全10回のここにこ学級では、班を作って毎回交代で日直さんを決め、後半にはママたち主体で講座を企画してもらうことを通して、参加者のつながりがより広がり、深まった。
- ・ 終了後スタッフとして参加してくれるママが増えた。
- ・ スタッフの持つ資格（栄養士等）や経験を生かした講座の企画・運営ができ、スタッフのやりがいにつながっている。



○今後について

- ・ 以前スタッフの減少に悩んでいたが、ここ数年は、連続講座から引き続きメンバーに入ってくれるママや、定年退職して手が空いたシニア世代のスタッフ参加により、活動に活気が戻って来た。
- ・ 委託金の減少により、講座の内容に制限が出てきたが、メンバーで知恵を出し合いながら、今後も活動を続けていきたい。

参加者の声、主催者から

- ・ 同世代のママ友ができて良かった。
- ・ 家ではなかなかできないことが講座で体験できたり、目からうろこの話が聞けて良かった。
- ・ 子育ては年々変わっていて、スタッフもスキルアップの必要性を感じている。

子育てネットワーク活動事例

おさがりひろば

尾張西地区 あま市

○ねらい、趣旨

- ・ 着れなくなったり、使わなくなったりした子ども服・おもちゃ・子育て用品・マタニティー服等のリユース・リサイクル
- ・ 子育て中の親の経済的負担の軽減

○きっかけ 取組の背景

- ・ まだ着ることのできる服を、同じ子育て中の誰かに着てほしい、役立ててほしいという思いから、平成30年度に初めて実施した。

○事業・活動主体

ミルキーねっと
(あま市子育てネットワーク)



○活動の概要

<対象者>

- ・ 服を提供してくれる家庭
- ・ 「おさがり」が欲しい子育て中の保護者

<活動の内容>

- ・ 着られなくなった服を無料で回収する。
回収場所（幼児期家庭教育講座、子育て支援センター、公民館、市民活動センター等）
- ・ あま市市民活動センター主催による「あまのわ」にブース出展
- ・ イベント当日は、欲しい人に無料で配布する。



○活動の特色や手立て

- ・ 一目で分かるようにサイズ・男女・種類別に陳列した。
- ・ リユース・リサイクルを目的としていたので、回収・配布を全て無料で行った。

○啓発方法

- ・ ミルキーねっとブログ、あま市市民活動センターホームページ
- ・ 子育て支援センター、児童館、公民館等にポスター掲示

○成果・効果

- ・ 朝から多くの方が訪れて大盛況で、たくさんの方に喜んでもらえた。
- ・ 提供してくれた方、利用してくれた方の両方に役に立つことができ、リユース・リサイクルの一役を担えてやりがいを感じた。



○今後について

- ・ 多くの方が喜んでくれたので、また実施したい。
- ・ 今回は無料で行ったが、開催場所・運営資金が今後の検討課題。
- ・ 利用者の皆さんに喜んでもらいたいので、枚数制限等の対策の必要性を感じた。

参加者の声、主催者から

- ・ 次回の開催が楽しみです。
- ・ 毎月1回など、コンスタントにやってほしいです。



子育てネットワーカー活動事例

子育て支援Webサイト 子育て支援メールマガジン

尾張西地区 あま市

○ねらい、趣旨

子育て中の人に向けた情報発信を円滑に行う。

○きっかけ 取組の背景

平成20年度「愛知県子育てネットワーカー活用モデル事業」を利用し、子育てネットワーカーが主宰する団体エンジェルネットみわ(現ミルキーねっと)が、情報発信の手段として、行政(当時の美和町子育て支援課)とすりあわせをしながら、本事業を企画・実施してきた。次年度からは、子育て支援課からの委託金で継続。あま市になってからも同様に継続している。

○事業・活動主体

ミルキーねっと
あま市福祉部
子育て支援課

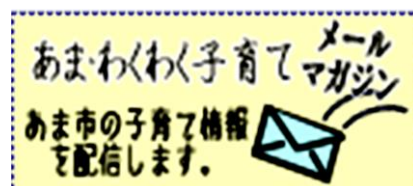


○啓発方法

- ・ 名刺大のカードを作成・配布
- ・ 幼児期家庭教育講座申込メールの返信メールに掲載

○連携しているところ

あま市教育部生涯学習課



○活動の概要

<参加者や対象者>

子育て中の親および誰でも

<人数>

メールマガジン配信 452人
(H30年12月現在)

<講座や活動の内容>

- ① WEBサイト作成。現在は、更新のみ(2回/1ヶ月以上)
あま市子育て支援カレンダー、あま・わくわく子育てメールマガジンバックナンバー、おすすめ絵本、子育て支援の団体紹介など、子育てに役立つ情報の掲載。
- ② メールマガジン配信(2回/1ヶ月以上)
幼児期家庭教育講座、児童館・図書館情報、乳幼児向けイベント紹介など。不定期に、ファミリーサポートセンターからの情報を掲載。月に1~2人の入退会の申込み有り。

	月	火	水
		1	2
休日		元日	
6	7	8	9
休日	【基支】赤ちゃんとあそぼう 【南児】ちびっこあつまれ 【七児】正月あそび	【七児】コアラ教室 	【兼支】赤ちゃんと 【七児】ちびっこ 【西児】

○成果・効果

家庭に居ながら、いつでも見たい時に情報を得られると母親たちに好評である。

○課題・今後について

- WEBサイト及びメールマガジン作成者、とりまとめ役の人員の確保
- WEBサイトのリニューアル
- 行政情報の受け取り方
- 行政以外の子育て支援情報の受信・発信方法



利用者の声

現在の申込状況も掲載されているので、参考になります。

子育てネットワーカー活動事例

子育て支援事業

子育て楽々フェスティバル

尾張西地区 大治町

○ねらい、趣旨

大治町の子育て支援団体について広く周知すること

<テーマ>

縦、横いろいろなつながりで子育てを支えていこう！（地域で子育て）

○きっかけ 取組の背景

社会教育課の子育て支援担当職員に、「大治町には子育て支援をしている団体がいくつかあるが、団体同士が何かつながりを持ってないだろうか」と相談されたのがきっかけとなっている。

○事業・活動主体

- ・ 社会教育課
- ・ エンジェルハウス（子育てネットワーカー）
- ・ たんぽぽ（読みがたりサークル）、すくすく（託児グループ）
- ・ あそびのたまてばこ（北間島地区で青少年育成ボランティアをしている）
- ・ NPO 法人ママ・ぷらす

○活動の概要

<参加者や対象者>

未就園児をもつ親子を基本とする
が、制限は設けない

<人数>

150組程度の親子



○活動の内容

三部構成

- I 親子でお話や手遊びを楽しむ
- II 親子で体を動かして触れ合う
- III 親子で大治町内の子育て支援団体による各ブースに参加し、色々な体験をする



○啓発方法や広報の仕方

広報、ホームページ、
チラシ、ポスター



○成果・効果

今年で12年目ということもあり、毎年150組程度の親子でにぎわう行事に成長している。

○課題・今後について

主催者が意欲を持って継続していくこと。



参加者の声

楽しかった！
是非来年も参加したい！
等のお声をいただいております。



子育てネットワーク活動事例

わくわく子育て教室

尾張西地区 蟹江町

○ねらい、趣旨

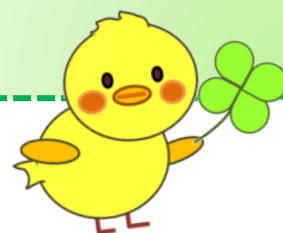
親子で楽しめる教室を開催する。

○きっかけ 取組の背景

わくわく子育て教室を生涯学習課と一緒に企画していたが、近年は生涯学習課が企画し、ネットワークには講師等として依頼がくるようになった。

○事業・活動主体

蟹江町生涯学習課



○活動の概要

<参加者や対象者>

町内在住の2歳以上の未就学児とその家族

<人数>

各回 定員20組40人

<講座や活動の内容>

- ・ 平成30年度より、春と秋の2期に分けて開催。
(春と秋で参加者は異なる。)
- ・ 春期は2回、秋期は3回、それぞれ隔週で開催。
- ・ 参加費は親子一組につき春期が2回分500円、秋期が3回分1,000円(子供一人追加ごとにプラス500円)
- ・ ネットワーカー以外の講師は親子体操や幼児向け英語講座を担当する。

★30年度の講座内容★

- 【春期】 手形スタンプ作り
親子体操
- 【秋期】 親子体操
幼児向け英語
簡単な工作

○活動の特色や手立て

前年度に子育てネットワーカーと生涯学習課の担当者間で打合せを行い、次年度の講座内容を決める。

内容は、参加する子供の月齢、開催時期等を考慮して決定する。
町から講師料が出る。

○啓発方法

町の生涯学習課の企画なので、生涯学習課の年間事業案内と町の広報に掲載される。



○成果・効果

- ・ 参加者（親）に子育てネットワーカーの存在を知らせることができる。
- ・ 参加者の悩みを聞いたり、先輩ママとしてアドバイスをしたりできる。
- ・ 町内の情報を参加者から聞いたり、教えたりできる。

○課題・今後について

- ・ 子育てネットワーカーの不足と高齢化
- ・ 参加者の月齢にバラつきがあるので、どの月齢の参加者も楽しめる内容の提案をすること
- ・ 町内の子育て支援を行なっているNPOや児童館と活動内容がかぶってしまう。



参加者の声

- ・ 「参加してよかった」という声が多かった。
- ・ 参加理由では「普段と違うことを体験させたかった」という声が多かった。
- ・ 「内容が盛りだくさんだが、詰め込みすぎにも感じた。」という意見もあった。

講座・活動主催者から

参加者の月齢に合わせた親子で楽しめる遊び、製作の企画を心掛けています。

子育てネットワーク活動事例

親子ふれあい広場

尾張西地区 稲沢市

○ねらい、趣旨

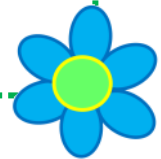
- ・ 子育て中の親子の交流の場を提供し、仲間づくりをサポート
- ・ 子育ての不安や負担感を減らし、子育てを楽しめるよう援助

○きっかけ 取組の背景

- ・ 稲沢市生涯学習課から依頼を受け、平成9年度から実施している。
- ・ 転勤族が少ない稲沢市で、一人育児が辛い親や育児仲間が欲しい親も、子育てを楽しめるようにサポートした。

○事業・活動主体

稲沢市子育てネットワーク
（稲沢子育てサポートネット）
稲沢市生涯学習課



○活動の概要

<対象者>

未就学児とその保護者

<人数>

16組

<活動の内容>

- ・ 親子遊び、絵本の読み聞かせ
- ・ テーマトーク
（病院情報、パパの子育て等）
- ・ 家族交流ゲーム
- ・ 託児体験
（預けてみよう・預かってみよう）



○活動の特色や手立て

- 同室託児を用意することで、安心してトークなど楽しめる。
- 6回の連続講座なので、親同士の自然なつながりができる。
- 日曜日の会を設けることで、パパ参加がしやすく、パパが他の家族の子をみることができる。
- 自主ネット作りに、スタッフの入らない7回目を設定している。

○啓発方法

稲沢市の広報とHP、ネットワーカーHP

○成果・効果

- 講座終了後も、成長を見守り合える育児仲間ができています。
- パパ参加によって、パパの子育て意識や協力度がアップしている。
- 親の育児中の孤独感が減少している。



○課題と今後について

- スタッフの人数の確保が課題。
- 募集、告知方法の改善が課題（広報を見る人が少なくなり、講座の周知が難しく、応募者が減少している）。受講者には好評なので、今後も継続して続けていきたい。

参加者の声

- 楽しくて、あっという間の6回でした。
- 同じくらいの月齢の子供がいるママと友達になれました。（児童館やセンターでは、なかなか友達ができなかった）
- 室内で託児者に見守られ、安心して遊ばせトークにも参加できました。
- パパが、「日曜講座は1回講座だけなの」と、もっと参加したそうでした。

子育てネットワーカー活動事例

子育て支援研究会

尾張西地区 稲沢市

○ねらい、趣旨

遊びなどの提供だけでなく、親の不安や負担感を視野に入れた本質的な支援ができるよう支援者で学び合い、実際の子育て事業に生かす。

○きっかけ 取組の背景

稲沢市子育てネットワーカーの自主活動として、「支援者としての資質向上」を目指し、平成16年度より研究会を始めた。

○事業・活動主体

稲沢市子育てネットワーカー(稲沢子育てサポートネット)

○活動の概要

<対象者>

子育てネットワーカー
子育て支援活動をしている方
子育て支援に興味のある方

<人数>

例会：数名～十数名
講演会：30～100人

<活動の内容>

- ・ 子育て支援事業における事例研究
- ・ 子育て中の親へのアンケート調査と分析
- ・ 子育てに関する社会問題などについてディスカッション
- ・ 講演会・研修会



○活動の特色や手立て

- それぞれの支援者が、子育て支援の現場で抱える問題点を伝え合い、対応の仕方や解決策を探る。
- 実際の事業にて行ったアンケートを基に、事業の効果や改善点について、検討する。
- 他の子育て支援グループとコラボして、講演会・研修会を開催する。

○啓発方法

ネットワーカーHP、ちらし・市の広報（講演会）

○成果・効果

- 事業のやりっぱなしではなく、振り返り、態度や姿勢・内容を確認し、工夫につなげていくことができる。
- 意見交換することで気付きがあり、支援に対して視野が広がる。
- 子育て支援についての共通理解ができ、理念を共有できる。
- 技術や知識を得ることができる。

○今後について

- 支援者同士で学び合うことは、お互いに有意義なので、今後も続けていきたい。そして、質の高い支援を目指したい。また、様々な子育て支援活動をしている方にも参加いただきたい。

参加者の声、主催者から 等

- みんなで自由に意見を言い合えて、楽しかったです。
- いろんな角度からの見方があって、目からうろこでした。
- 元気がもらえた。支援活動を頑張ろうと思います。
- すてきな企画をありがとう。講演会に参加して良かった。

子育てネットワーカー活動事例

稲沢マザーリングの会

尾張西地区 稲沢市

○ねらい、趣旨

親子リトミックや親子遊びの活動を通して、親子で楽しく過ごし、他の親子とも交流し、子育てのヒントを得る。

○きっかけ 取組の背景

稲沢にまだ乳幼児親子の居場所がない
1990年、転勤で転居してきたママ達を中心に
なって稲沢初の育児サークルを作った。

○事業・活動主体

自主運営の民間の子育てサークル（スタッフは子育てネットワーカー）

○活動の概要

<対象者>

0才～入園前の子供と親

<人数>

15組までの親子

<活動の内容>

親子遊びクラス

絵本の読み聞かせ・手遊び
簡単工作・親子遊び・トーク
おもちゃで自由遊び・季節行事

リトミッククラス

親子リトミック（音楽遊び）
子育てワンポイントアドバイス



○活動の特色や手立て

- ・ 講師やコーディネーターが会を進めるので、コミュニケーションが苦手な親子でも安心して参加できる。
- ・ スタッフは、子育て支援を学び続けているネットワーカーで、親の子育て不安に寄り添いながら、親をエンパワメントしている。

○啓発方法

ホームページ、チラシ

○成果・効果

- ・ 一年間同じ仲間と定期的に会うので、親子ともに良い友だちになれ、みんなで子供の成長を見守り喜び合える。
- ・ 親子が、伸び伸びと楽しく（成長の速度を比較したりせず、個性を受け止めて）参加している。
- ・ 活動の中から子育てのヒントを拾ったり、また生活の中の悩みを相談し合ったりしている。（ストレス解消になっている）

○今後について

民間のサークルなので、会費が必要。無料の子育て支援が数多く行われているので、参加者が少なくなっているのが課題。

参加者の声

- ・ 子供がサークルの日を楽しみにしています。
- ・ スタッフが明るく楽しいので、参加しやすいです。
- ・ 家でのイライラがいつの間にか解消しています。
- ・ 子供の個性はそれぞれでいいと思えました。

子育てネットワーカー活動事例

すくすく広場

尾張西地区 稲沢市

○ねらい、趣旨

- ・ 月齢に関係なく誰でも気軽に参加できる親子遊びの場
- ・ 子育て中の親子の交流の場

○きっかけ 取組の背景

- ・ 稲沢市生涯学習課の依頼を受け、実施している。
- ・ 親子のふれあいや親子の出会いの場を提供することで、子育ての孤独感の軽減をめざす。

○事業・活動主体

稲沢市子育てネットワーカー（稲沢子育てサポートネット）
稲沢市生涯学習課

○活動の概要

<対象者>

乳幼児と保護者

<人数>

60組～70組

<活動の内容>

- ・ 手遊び
- ・ 身体遊び
- ・ 季節の歌
- ・ 読み聞かせ
- ・ エプロンシアター
- ・ パネルシアター
- ・ 手作りおもちゃの紹介
- ・ ミニミニコンサート



○活動の特色や手立て

- 保健センターでの乳幼児身体計測の日に合わせて、開催している。
- 1コマ20分の親子遊びを午前中に3回行っている。
- 予約不要で、誰でも気軽に参加できる形態をとっている。

○啓発方法

- 稲沢サポートネットHP（毎月の活動内容をブログに掲載）
- 稲沢市の広報とHP

○成果・効果

- 毎月60～70組の参加者
- 乳幼児身体計測日に開催のため、計測と親子遊びが一緒に行えるメリットがある。
- 親子でふれあえる楽しい時間と感じられており、また、親の気分転換、交流の場にもなっている。



○今後について

- 参加者の月齢は2か月から3歳までと幅が広い。月齢に合わせた活動が望まれるが時間を分ける事が難しいため、様々な声掛けで補っていく。
- 参加者のリピーター率は高いが、初参加者率も高い。初めてでも安心して参加できる雰囲気作りをし、親同士をつなぐ架け橋としての役割を継続して心掛けていく。

参加者の声、主催者から

- 毎月楽しみにしています。家でもまねをして遊んだり、歌ったりしています。
- 親子遊び、楽しく参加させていただいています。
(アンケートに寄せられた声より)

